

SEVEN HILLS

The magazine for high net worth individuals

セブンヒルズ

世界を舞台に活躍する
資産家のための
マネー & カルチャー 誌

7

JULY 2006 Vol.021

特集

ORDER MADE

ハワイ、ここに価値あり
ウィンストン・チャーチルとハロウ校
プライベートジェット活用術
スイスで味わう、プライベートバンクの「居心地」

私の愛した

オーダーメイド

れてはじめて
かを愛しいと思った

Luc Besson

リュック・ベッソン
映画監督

1959年、パリ生まれ。フランスとハリウッドで映画助手を務めた後、83年に初の長編映画『最後の戦い』を発表。アヴォリアッツ・ファンタスティック映画祭で審査員特別賞等を受賞し、注目を集める。88年の『グレート・ブルー』で世界的に名を知られるようになり、その後も『ニキータ』『レオン』などの話題作を監督。2001年には、映画会社ヨーロッパ・コープを設立し、毎年数本の映画を制作するとともに、後進の指導も行っている

【アメリカ】
ヤメル・ドゥブー

たった二

『グレート・ブルー』『レオン』などで知られるフランスの映画監督リュック・ベッソン。

前作から6年ぶりにメガホンをとった『アンジェラ』の公開を前に来日し、マスコミの取材に応じた。

ヨーロッパ・コープは、そのベッソン監督が映画制作から配給、世界への進出を展望し、

プロデューサーのピエランジュ・ル・ポギヤムとともに立ち上げた映画会社。

妥協を好まない監督が、ヨーロッパ・コープに込めた思いを聞いた。

矢幡聡子／インタビュー

interview : Satoko Yahata

野地康之／写真

photographs : Yasuyuki Noji

斎藤恵美／文

text : Emi Saito

——ヨーロッパ・コープを設立されたきっかけについて教えてください。

今まで映画を作っていて、配給活動など行っていくうちに、自分が制作に注いだエネルギーが、必ずしも最後までいい状態で保たれていない、ということを感じていました。そのため、自分の作品をきちんと見送れるメカニズムを作りたい。世界のような国で、作品が配給されたときに、同じくオリティで受け入れられる受け皿を作ることが、大事だと思いました。

また、自分たちの自由な制作環境を維持したい、という考えもありました。今の映画産業はテレビが牛耳っていると言っても過言ではないでしょう。テレビは視聴率を稼ぐために、ヒットした作品を放映する。そういった体制のなかで、映画をバックアップしているのです。

——しかし、それでは映画の多様性が失われてしまう可能性がありますね。

そうです。私は映画人として、これはちよつと違うと思います。ヒットした作品にお金を集めて、また放映するということは、簡単なことです。しかし、映画というのは小品や大作、いろいろな作品があつてこそ、映画なんですよ。失敗作のなかにも宝石が隠れているかもしれないし、おっしゃる通り、多様性を保つことが大事だと思います。

——監督や俳優など若い才能の発掘をいつも考えていらっしゃいますね。

これは、私の映画人としての責任でも

ありますし、ずっと続けていきたいと思つてのことです。テレビだけが映画産業を支配していると、次の世代を育てるということに、力が注がれなくなる。私はヨーロッパ・コープを若い才能が集まるオアシスにして、若い人を後押ししていきたいと考えています。

——ヨーロッパ・コープ成功の要因は？

これはフランスに映画ファンが本当に満足するための会社になかった、という証明でもあると思います。これからは、今までのやり方ではだめなんだということが分かり、他の会社にも刺激になったのではないでしょう。アメリカで、(スティーヴン・スピルバーグ監督などが設立した)「ドリームワークス」が参入したときの状態に似ているのではないかと思います。



矢幡 聡子 やはた・さとこ

CORE SLTD.代表取締役。聖心女子学院卒業後、スイス、フランスへ留学。欧州国連本部、小谷正一事務所を経てCORE SLTD.を設立。主な仕事は、国際文化交流事業の企画運営。PRコンサルタント、衛星テレビのプロデューサー、エッセイストとしても活躍。日本UNHCR協会評議員

——設立して5年間の成果はいかがですか。また、今後の展開について教えてください。

この5年で制作会社としても、配給会社としても、かなり満足のいく環境を作ることができたと思います。この場をお借りして、日本のパートナーの方々にお礼を申し上げます。

今後の展開としては、莫大な制作費をかけて作った『アーサー』(原題)というアニメーション映画の公開を予定しています。

また現在はパリ、東京に会社がありますが、これから北米で配給する環境を整えるために、アメリカに支社を作りたいですね。そして、会社の規模を拡大するために、株式を上場したいと考えています。

——本日はありがとうございました。